



平成23年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年10月29日

上場取引所 東 大

上場会社名 岩井コスモホールディングス株式会社
コード番号 8707 URL <http://www.iwaicosmo-hd.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 沖津 嘉昭

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理担当 (氏名) 笹川 貴生

四半期報告書提出予定日 平成22年11月11日

TEL 06-4560-5800

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第2四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		純営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第2四半期	9,463	—	9,069	—	△1,537	—	△1,433	—	3,991	—
22年3月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第2四半期	164.38	—
22年3月期第2四半期	—	—

(注)第1四半期連結会計期間より連結財務諸表の開示を行っているため、前年同四半期実績につきましては記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第2四半期	169,114	32,225	19.1	1,327.00
22年3月期	—	—	—	—

(参考) 自己資本 23年3月期第2四半期 32,225百万円 22年3月期 ー百万円

(注)第1四半期連結会計期間より連結財務諸表の開示を行っているため、前期実績につきましては記載しておりません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00
23年3月期	—	0.00	—	—	—
23年3月期 (予想)	—	—	—	—	—

(注)当四半期における配当予想の修正有無 無

(注2)当社は、定款において期末日及び第2四半期末日を配当基準日と定めておりますが、現時点では当該基準日における配当予想額は未定であります。

3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(注)当四半期における業績予想の修正有無 無

(注2)金融商品取引業は、経済情勢や市場環境の変動により大きく影響を受ける状況にあり、当社グループは業績予想を開示しておりません。しかし、四半期毎の業績については、合理的な見積りが可能となった時点で開示いたします。

4. その他（詳細は、【添付資料】4ページ「2. その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	23年3月期2Q	25,012,800株	22年3月期	25,012,800株
② 期末自己株式数	23年3月期2Q	728,541株	22年3月期	728,498株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	23年3月期2Q	24,284,268株	22年3月期2Q	24,284,302株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続を実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 第1四半期連結会計期間より、「四半期連結財務諸表規則」に従い、四半期連結財務諸表を作成しております。

2. 金融商品取引業者は、経済情勢や市場環境の変動により大きく影響を受ける状況にあり、当社グループは業績予想を開示しておりません。しかし、四半期毎の業績・配当予想額については、合理的な見積りが可能となった時点で開示いたします。

（注記事項）

当社は、平成22年4月16日付でコスモ証券株式会社の全株式を取得し、完全子会社化したことに伴い、当第2四半期については、岩井証券株式会社（平成22年7月1日付で「岩井コスモホールディングス株式会社」に商号変更）の平成22年4月15日までの単体経営成績に、平成22年4月16日以降の連結経営成績を合算したものとしております。

○添付資料の目次

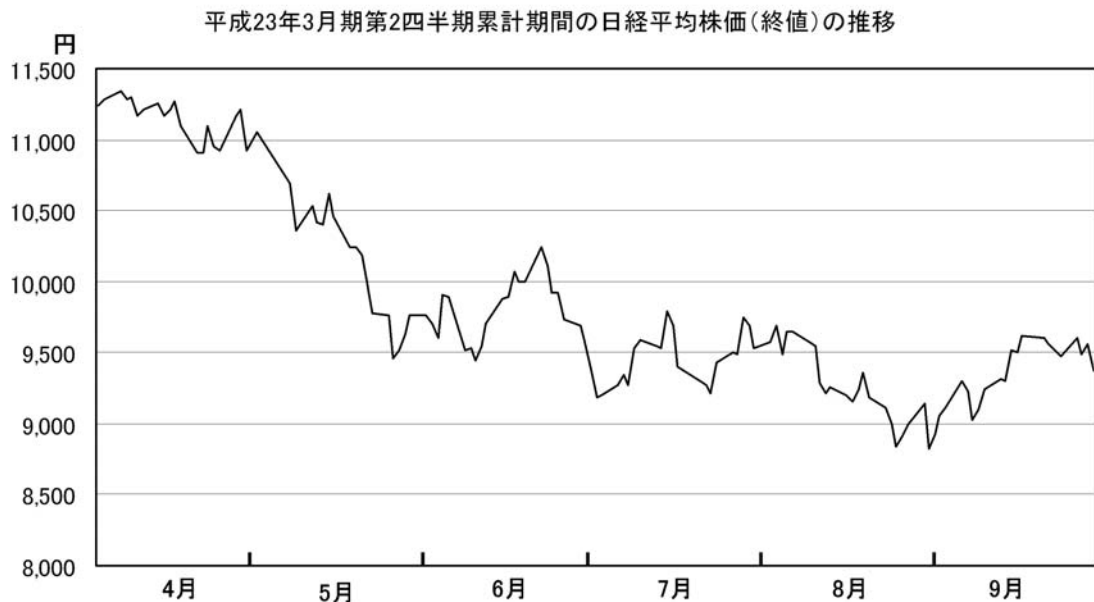
1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	1
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	1
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	4
(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	4
(2) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 継続企業の前提に関する注記	12
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	12
4. 補足情報	13
(1) 受入手数料	13
(2) トレーディング損益	13
(3) 自己資本規制比率	14
5. 参考情報	15

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間（平成22年4月1日から9月30日までの6ヶ月間。以下同じ）におけるわが国経済は、緊急経済対策の効果やアジアをはじめとする新興国の需要拡大を支えとして、一部に景気回復の兆しが見られました。しかし、依然として厳しい雇用情勢に加え、急激な円高を背景とした企業業績の下振れ懸念の高まりなど、先行きに対しての不安が増幅する状況となりました。

こうした中、株式市場は、期間を通じ下落基調を辿りました。期初こそ、企業収益の改善期待を背景に上昇基調で始まり、日経平均株価は4月5日に年初来の高値となる11,339円30銭を付けましたが、その後は、欧州財政問題の深刻化に伴う信用不安の増幅や対ユーロでの円高進行、中国の金融引き締め観測など、相次ぐ懸念材料の台頭により続落し、5月25日にはおよそ半年ぶりに9,500円を割り込みました。6月に入り、欧州の財政・金融不安が一時的に和らいだことから、日経平均株価は10,000円台を回復したものの、6月後半には、米国を中心とした世界的な景気減速懸念を背景に調整色が強まり、9,000円台前半まで下落しました。8月上旬までは日米主要企業の4-6月期決算の好調に支えられ、日経平均株価は概ね9,500円を上回る水準で推移しましたが、その後、為替が15年ぶりとなる1ドル83円台を記録したことから、日経平均株価は再び下落し、8月31日には8,824円06銭と期中の安値（終値ベース）を記録しました。9月に入ると、米国株式市場の上昇や政府・日銀による為替介入を評価し、反発姿勢を見せたものの、9月30日の日経平均株価は9,369円35銭と前期末を15.5%下回る水準で取引を終えました。



一方、債券市場は、期初、米国の金利上昇を背景に、長期金利の指標となる10年物長期国債利回り（以下、長期金利）は4月7日に1.405%を付けました。しかし、4月中旬以降は、欧州財政問題の深刻化や菅新政権による金融緩和への期待、米国を中心とした世界的な景気減速懸念から、ほぼ一本調子で低下し、8月4日に、およそ7年ぶりに1%台を割り込むと、8月18日には0.900%まで低下しました。その後、民主党代表選で財政拡大路線を標榜する小沢氏の出馬により、金利が上昇する場面も見られましたが、菅政権の継続が決定したことで再び低下基調となり、9月30日の長期金利は0.930%となりました。

(当社グループの業績)

こうした状況の中、当社は、4月16日に、全国に29店舗を有し、投資信託、債券等の販売に強みを持つ対面取引主体のコスモ証券株式会社の全株式を取得（完全子会社化）いたしました。また、7月1日には、証券2社（岩井証券株式会社、コスモ証券株式会社）、証券バックオフィス事業会社1社（岩井コスモビジネスサービス株式会社）を傘下に置く持株会社体制へと移行し、グループ経営の強化に迅速に取り組みしました。しかしながら、株式市場の低迷、とりわけ、個人投資家の低調な売買を反映して、営業収益は9,463百万円、純営業収益は9,069百万円となりました。一方、販売費・一般管理費、営業外収支を加減した経常損益は1,433百万円の損失となりましたが、コスモ証券株式会社の取得に伴う負ののれん発生益5,124百万円の計上を主因として、四半期純損益は3,991百万円の利益となりました。

主な収益と費用の概況は、以下のとおりであります。

(受入手数料)

受入手数料は、4,975百万円となりました。内訳は以下のとおりであります。

① 委託手数料

当期の東証1日平均売買高（内国普通株式）は20億87百万株、同売買代金は1兆4,588億円となりました。一方、当社グループの1日平均株式委託売買高（国内）は33百万株、同株式委託売買代金（国内）は15,668百万円となり、委託手数料は2,712百万円となりました。

② 引受け・売出し・特定投資家向け売付け勧誘等の手数料

株式発行市場では、新規公開社数が伸び悩む中、当社グループの引受けは1銘柄、引受高で3百万円となりました。一方、債券発行市場では、普通社債、地方債の引受けに注力したことから、債券引受高は324億40百万円となりました。その結果、引受け・売出し・特定投資家向け売付け勧誘等の手数料は32百万円となりました。

③ 募集・売出し・特定投資家向け売付け勧誘等の取扱手数料、その他の受入手数料

募集・売出し・特定投資家向け売付け勧誘等の取扱手数料、その他の受入手数料は、主に投資信託による収入で構成されております。

当期は、海外のREITを主要投資対象とする毎月分配型投資信託や低リスク志向の投資家向けに日本の国債を投資対象とした毎月分配型投資信託の取扱いを開始するなど、多様な投資家ニーズにお応えすべく商品ラインナップの充実に努めました。また、個人投資家に人気の外国債券型の毎月分配型投資信託を中心に、預り資産残高の積み上げに注力した結果、募集・売出し・特定投資家向け売付け勧誘等の取扱手数料は1,264百万円となりました。一方、その他の受入手数料は、投資信託の信託報酬手数料を中心に965百万円となりました。

(トレーディング損益)

株券等トレーディング損益は614百万円となりました。また、債券等トレーディング損益は、外国債券の販売を積極化したことにより2,568百万円となり、為替等を含めた合計のトレーディング損益は3,199百万円となりました。

(金融収支)

金融収益は、信用取引による金利収入を中心に1,288百万円となりました。一方、金融費用は394百万円となり、差し引き金融収支は894百万円となりました。

(販売費・一般管理費)

販売費・一般管理費は、店舗統廃合などの合理化の推進および継続的な販管費削減に努めた結果、10,606百万円となりました。

(営業外収支)

営業外収支は、受取配当金を中心に103百万円の利益となりました。

(特別損益)

特別利益は、コスモ証券株式取得に伴う負ののれん発生益5,124百万円、金融商品取引責任準備金戻入391百万円、貸倒引当金戻入額10百万円を計上しました。一方、特別損失は、減損損失371百万円、組織再編費用342百万円など合計747百万円を計上し、差し引き特別損益は4,778百万円の利益となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産、負債及び純資産に関する分析)

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、169,114百万円となりました。そのうち、流動資産は156,092百万円であり、主なものは、顧客分別金信託が56,290百万円、信用取引貸付金が52,354百万円、短期差入保証金が11,539百万円となっております。一方、固定資産は13,022百万円となりました。

負債合計は、136,889百万円となりました。そのうち、流動負債は130,441百万円、固定負債は5,851百万円となっております。

純資産合計は、32,225百万円となり、自己資本比率は、19.1%となっております。

(キャッシュ・フローの状況に関する分析)

当第2四半期連結会計期間における現金及び現金同等物の残高は、9,764百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、顧客分別金信託の減少などによる収入があったものの、信用取引負債の減少、預り金や受入保証金の減少などによる支出により、92百万円の減少となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、関係会社株式の取得による支出などにより、3,575百万円の減少となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入金の返済などがあったものの、短期借入及び長期借入による収入などにより、3,176百万円の増加となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

金融商品取引業は、経済情勢や市場環境の変動により大きく影響を受ける状況にあり、当社グループは業績予想・配当予想額を開示しておりません。しかし、四半期毎の業績については、合理的な見積りが可能となった時点で開示いたします。

2. その他の情報

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

固定資産の減価償却費の算定方法は、定率法を採用している資産について、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

第1四半期連結会計期間より連結財務諸表を作成することとなったため、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しており、該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

当第2四半期連結会計期間末
 (平成22年9月30日)

資産の部	
流動資産	
現金・預金	11,145
預託金	57,606
顧客分別金信託	56,290
その他の預託金	1,315
トレーディング商品	13,000
商品有価証券等	12,935
デリバティブ取引	65
約定見返勘定	915
信用取引資産	56,191
信用取引貸付金	52,354
信用取引借証券担保金	3,837
有価証券担保貸付金	3,628
借入有価証券担保金	3,628
立替金	103
短期差入保証金	11,539
支払差金勘定	14
未収収益	1,428
その他の流動資産	530
貸倒引当金	△13
流動資産計	156,092
固定資産	
有形固定資産	2,038
建物	782
器具備品	527
土地	698
リース資産	30
無形固定資産	2,671
ソフトウェア	631
リース資産	0
電話加入権	102
顧客関連資産	1,913
その他	23
投資その他の資産	8,312
投資有価証券	5,862
従業員に対する長期貸付金	35
長期差入保証金	1,761
長期前払費用	71
その他	943
貸倒引当金	△362
固定資産計	13,022
資産合計	169,114

(単位：百万円)

当第2四半期連結会計期間末
(平成22年9月30日)

負債の部	
流動負債	
トレーディング商品	2,922
商品有価証券等	2,831
デリバティブ取引	91
信用取引負債	36,922
信用取引借入金	27,072
信用取引貸証券受入金	9,850
有価証券担保借入金	5,434
有価証券貸借取引受入金	5,434
預り金	27,435
顧客からの預り金	25,807
その他の預り金	1,627
受入保証金	41,687
短期借入金	10,420
1年内返済予定の長期借入金	450
リース債務	11
未払法人税等	91
賞与引当金	307
リース資産減損勘定	113
組織再編費用引当金	3,610
その他の流動負債	1,033
流動負債計	130,441
固定負債	
長期借入金	3,825
繰延税金負債	1,412
退職給付引当金	4
負ののれん	4
リース債務	30
資産除去債務	255
長期リース資産減損勘定	138
その他の固定負債	180
固定負債計	5,851
特別法上の準備金	
金融商品取引責任準備金	596
特別法上の準備金計	596
負債合計	136,889

(単位：百万円)

当第2四半期連結会計期間末
(平成22年9月30日)

純資産の部	
株主資本	
資本金	10,004
資本剰余金	4,890
利益剰余金	17,640
自己株式	△608
株主資本合計	31,926
評価・換算差額等	
その他有価証券評価差額金	298
評価・換算差額等合計	298
純資産合計	32,225
負債・純資産合計	169,114

(2) 四半期連結損益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

当第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	
営業収益	
受入手数料	4,975
委託手数料	2,712
引受け・売出し・特定投資家向け売付け勧誘等の手数料	32
募集・売出し・特定投資家向け売付け勧誘等の取扱手数料	1,264
その他の受入手数料	965
トレーディング損益	3,199
株券等トレーディング損益	614
債券等トレーディング損益	2,568
その他のトレーディング損益	16
金融収益	1,288
その他の商品売買損益	0
営業収益計	9,463
金融費用	394
純営業収益	9,069
販売費・一般管理費	10,606
取引関係費	1,980
人件費	4,491
不動産関係費	1,708
事務費	1,738
減価償却費	288
租税公課	157
貸倒引当金繰入れ	8
その他	234
営業損失(△)	△1,537
営業外収益	174
営業外費用	70
経常損失(△)	△1,433
特別利益	
負ののれん発生益	5,124
金融商品取引責任準備金戻入	391
貸倒引当金戻入額	10
特別利益計	5,526

(単位：百万円)

当第2四半期連結累計期間
(自 平成22年4月1日
至 平成22年9月30日)

特別損失	
減損損失	371
組織再編費用	342
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	13
部門閉鎖損失	13
固定資産除却損	4
退職特別加算金	1
店舗移転費用	0
投資有価証券売却損	0
有価証券評価減	0
特別損失計	747
税金等調整前四半期純利益	3,345
法人税、住民税及び事業税	27
法人税等調整額	△673
法人税等合計	△646
少数株主損益調整前四半期純利益	3,991
少数株主利益	—
四半期純利益	3,991

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

当第2四半期連結累計期間
(自 平成22年4月1日
至 平成22年9月30日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	3,345
減価償却費	288
減損損失	371
負ののれん償却額	△1
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△2
受取利息及び受取配当金	△1,259
支払利息	392
為替差損益 (△は益)	△159
負ののれん発生益	△5,124
賞与引当金の増減額 (△は減少)	18
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	12
金融商品取引責任準備金の増減額 (△は減少)	△391
組織再編費用	342
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	13
有価証券評価減	0
固定資産除却損	4
顧客分別金信託の増減額 (△は増加)	13,779
トレーディング商品の増減額	683
約定見返勘定の増減額 (△は増加)	△1,085
信用取引資産の増減額 (△は増加)	797
有価証券担保貸付金の増減額 (△は増加)	△1,449
立替金の増減額 (△は増加)	△22
差入保証金の増減額 (△は増加)	△808
信用取引負債の増減額 (△は減少)	△3,579
有価証券担保借入金の増減額 (△は減少)	2,770
預り金の増減額 (△は減少)	△5,980
受入保証金の増減額 (△は減少)	△3,184
その他	△515
小計	△742
利息及び配当金の受取額	1,129
利息の支払額	△386
組織再編費用の支出額	△76
法人税等の支払額	△16
営業活動によるキャッシュ・フロー	△92

(単位：百万円)

当第2四半期連結累計期間
(自 平成22年4月1日
至 平成22年9月30日)

投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△370
定期預金の払戻による収入	470
有形固定資産の取得による支出	△166
無形固定資産の取得による支出	△111
長期前払費用の取得による支出	△4
投資有価証券の取得による支出	△12
投資有価証券の売却による収入	30
関係会社株式の取得による支出	△5,061
貸付金の回収による収入	1,650
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,575
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額 (△は減少)	2,150
リース債務の返済による支出	△5
長期借入れによる収入	4,500
長期借入金の返済による支出	△3,225
自己株式の取得による支出	△0
配当金の支払額	△243
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,176
現金及び現金同等物に係る換算差額	159
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△333
現金及び現金同等物の期首残高	10,097
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,764

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

※補足情報の(1)から(2)までの数値は、前年同四半期については岩井証券株式会社(単体)(平成22年7月1日付で「岩井コスモホールディングス株式会社」へ商号変更)の数値を記載し、当第2四半期については平成22年4月15日までの岩井証券株式会社(単体)の数値に、平成22年4月16日以降の連結経営成績の数値を合算しております。

(1) 受入手数料

①科目別内訳

(単位：百万円)

	前第2四半期 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
	岩井証券 (単体)	岩井コスモHD (連結)
委託手数料	1,885	2,712
(株券)	(1,871)	(2,401)
(債券)	(3)	(4)
(受益証券)	(10)	(20)
(その他)	(一)	(286)
引受け・売出し・特定投資家向け 売付け勧誘等の手数料	—	32
(株券)	—	(0)
(債券)	(一)	(32)
募集・売出し・特定投資家向け 売付け勧誘等の取扱手数料	9	1,264
その他の受入手数料	113	965
合計	2,007	4,975

②商品別内訳

(単位：百万円)

	前第2四半期 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
	岩井証券 (単体)	岩井コスモHD (連結)
株券	1,924	2,509
債券	3	46
受益証券	36	1,990
その他	43	428
合計	2,007	4,975

(2) トレーディング損益

(単位：百万円)

	前第2四半期 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
	岩井証券 (単体)	岩井コスモHD (連結)
株券等	555	614
債券等	15	2,568
その他	—	16
合計	570	3,199

(3) - 1 自己資本規制比率 岩井証券株式会社 (単体)

(単位：百万円)

		前第2四半期末 (平成21年9月30日)	当第2四半期末 (平成22年9月30日)	(参考) 前期末 (平成22年3月31日)
基本的項目	(A)	28,855	11,797	27,934
補完的項目	(B)	1,085	780	987
	その他有価証券評価差額金(評価益)	773	570	674
	金融商品取引責任準備金	306	204	306
	一般貸倒引当金	5	6	6
控除資産	(C)	4,327	469	3,858
固定化されていない自己資本 (A) + (B) - (C)	(D)	25,613	12,109	25,063
リスク相当額	(E)	2,844	2,437	2,551
	市場リスク相当額	291	257	316
	取引先リスク相当額	992	743	757
	基礎的リスク相当額	1,561	1,435	1,476
自己資本規制比率 (%)	(D) / (E) × 100	900.4	496.8	982.3

(注) 前年同四半期末及び前期末の数値は旧岩井証券株式会社(現岩井コスモホールディングス株式会社)の数値を記載しております。

(3) - 2 自己資本規制比率 コスモ証券株式会社 (単体)

(単位：百万円)

		前第2四半期末 (平成21年9月30日)	当第2四半期末 (平成22年9月30日)	(参考) 前期末 (平成22年3月31日)
基本的項目	(A)	24,850	25,090	24,435
補完的項目	(B)	2,343	394	2,072
	その他有価証券評価差額金(評価益)	298	—	30
	金融商品取引責任準備金	679	392	681
	一般貸倒引当金	5	2	4
	短期劣後債務	1,360	—	1,356
控除資産	(C)	6,127	4,137	5,814
固定化されていない自己資本 (A) + (B) - (C)	(D)	21,066	21,347	20,693
リスク相当額	(E)	5,651	5,364	5,262
	市場リスク相当額	381	477	408
	取引先リスク相当額	701	746	630
	基礎的リスク相当額	4,568	4,139	4,223
自己資本規制比率 (%)	(D) / (E) × 100	372.7	397.9	393.1

5. 参考情報

四半期個別財務諸表

① 岩井証券株式会社

イ. 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	当第2四半期末 (平成22年9月30日)	前期末 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金・預金	1,345	10,462
預託金	33,781	43,424
トレーディング商品	470	556
商品有価証券等	470	556
信用取引資産	30,813	32,325
信用取引貸付金	29,100	30,378
信用取引借証券担保金	1,712	1,947
有価証券担保貸付金	809	671
借入有価証券担保金	809	671
立替金	76	46
短期差入保証金	622	546
短期貸付金	507	8
未収入金	33	76
未収収益	910	863
その他の流動資産	28	16
貸倒引当金	△6	△6
流動資産計	69,393	88,991
固定資産		
有形固定資産	—	652
無形固定資産	—	808
投資その他の資産	1,898	4,143
投資有価証券	1,629	3,530
出資金	1	1
従業員に対する長期貸付金	34	41
長期差入保証金	0	273
その他の投資等	474	577
貸倒引当金	△241	△280
固定資産計	1,898	5,605
資産合計	71,291	94,597

(注) 前期末の数値は、旧岩井証券株式会社（現岩井コスモホールディングス株式会社）の数値を記載しております。

(単位：百万円)

	当第2四半期末 (平成22年9月30日)	前期末 (平成22年3月31日)
負債の部		
流動負債		
信用取引負債	19,992	21,729
信用取引借入金	15,026	15,508
信用取引貸証券受入金	4,965	6,221
有価証券担保借入金	1,857	1,612
有価証券貸借取引受入金	1,857	1,612
預り金	16,050	19,704
受入保証金	17,482	18,671
短期借入金	2,500	2,400
未払法人税等	17	37
賞与引当金	103	130
その他の流動負債	220	373
流動負債計	58,223	64,658
固定負債		
繰延税金負債	472	585
その他の固定負債	22	194
固定負債計	495	779
特別法上の準備金		
金融商品取引責任準備金	204	306
特別法上の準備金計	204	306
負債合計	58,923	65,744
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,000	10,004
資本剰余金	9,279	4,890
利益剰余金		
その他利益剰余金		
社会貢献積立金	—	40
別途積立金	—	14,410
繰越利益剰余金	△481	△558
利益剰余金合計	△481	13,891
自己株式	—	△608
株主資本合計	11,797	28,177
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	570	674
評価・換算差額等合計	570	674
純資産合計	12,368	28,852
負債・純資産合計	71,291	94,597

(注) 前期末の数値は、旧岩井証券株式会社（現岩井コスモホールディングス株式会社）の数値を記載しております。

ロ. 四半期損益計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)
営業収益		
受入手数料	2,007	1,486
トレーディング損益	570	239
金融収益	742	714
その他の営業収益	—	6
営業収益計	3,321	2,447
金融費用	178	185
純営業収益	3,142	2,261
販売費・一般管理費	3,121	2,867
取引関係費	629	529
人件費	1,263	1,018
不動産関係費	393	320
事務費	611	627
減価償却費	114	69
租税公課	47	71
その他	61	230
営業利益 (△は損失)	20	△605
営業外収益	109	55
営業外費用	8	26
経常利益 (△は損失)	121	△576
特別利益		
金融商品取引責任準備金戻入	58	102
貸倒引当金戻入額	2	10
特別利益計	61	112
特別損失		
有価証券評価減	48	168
組織再編費用	—	172
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	13
特別損失計	48	353
税引前四半期純利益 (△は損失)	133	△818
法人税、住民税及び事業税	11	8
法人税等調整額	6	5
法人税等合計	17	14
四半期純利益 (△は損失)	115	△832

(注) 岩井証券株式会社は会社分割により、平成22年7月1日より事業を開始しておりますので当第2四半期累計期間は、旧岩井証券株式会社（現岩井コスモホールディングス株式会社）の当第1四半期会計期間の数値を単純合算して記載しております。また、前第2四半期累計期間の数値は、旧岩井証券株式会社（現岩井コスモホールディングス株式会社）の数値を記載しております。

② コスモ証券株式会社

イ. 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	当第2四半期末 (平成22年9月30日)	前期末 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金・預金	9,446	13,298
預託金	23,825	26,593
トレーディング商品	12,530	10,232
商品有価証券等	12,464	10,159
デリバティブ取引	65	72
信用取引資産	25,390	24,551
信用取引貸付金	23,266	21,401
信用取引借証券担保金	2,124	3,150
有価証券担保貸付金	3,111	1,107
借入有価証券担保金	3,111	1,107
立替金	26	9
短期差入保証金	10,917	9,755
未収入金	3,174	52
未収収益	517	465
その他の流動資産	1,257	1,997
貸倒引当金	△7	△6
流動資産計	90,190	88,057
固定資産		
有形固定資産	1,841	1,669
無形固定資産	679	746
投資その他の資産	1,495	3,320
投資有価証券	474	1,358
関係会社株式	—	62
出資金	2	2
関係会社長期貸付金	—	20
長期差入保証金	674	1,501
その他の投資等	436	462
貸倒引当金	△92	△87
固定資産計	4,015	5,736
資産合計	94,205	93,793

(単位：百万円)

	当第2四半期末 (平成22年9月30日)	前期末 (平成22年3月31日)
負債の部		
流動負債		
トレーディング商品	2,922	1,008
商品有価証券等	2,831	968
デリバティブ取引	91	39
約定見返勘定	—	679
信用取引負債	16,943	19,121
信用取引借入金	12,058	12,439
信用取引貸証券受入金	4,885	6,681
有価証券担保借入金	3,869	—
有価証券貸借取引受入金	3,869	—
預り金	11,374	13,179
受入保証金	24,205	24,423
短期借入金	7,920	5,870
1年内返済予定の長期借入金	—	3,000
未払法人税等	47	77
賞与引当金	166	143
リース資産減損勘定	113	116
その他の流動負債	713	770
流動負債計	68,276	68,391
固定負債		
繰延税金負債	53	—
退職給付引当金	21	25
長期リース資産減損勘定	138	194
その他の固定負債	234	35
固定負債計	447	255
特別法上の準備金		
金融商品取引責任準備金	392	681
特別法上の準備金計	392	681
負債合計	69,115	69,328
純資産の部		
株主資本	25,137	24,435
資本金	13,500	13,500
資本剰余金	10,467	10,467
利益剰余金		
利益準備金	395	395
その他利益剰余金	774	72
繰越利益剰余金	774	72
利益剰余金合計	1,170	468
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△46	30
評価・換算差額等合計	△46	30
純資産合計	25,090	24,465
負債・純資産合計	94,205	93,793

ロ. 四半期損益計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)
営業収益		
受入手数料	5,999	3,950
トレーディング損益	3,079	3,306
金融収益	747	636
その他の営業収益	0	0
営業収益計	9,826	7,892
金融費用	252	201
純営業収益	9,574	7,691
販売費・一般管理費	8,688	8,616
取引関係費	1,432	1,560
人件費	3,926	3,441
不動産関係費	1,467	1,398
事務費	1,393	1,563
減価償却費	200	228
租税公課	95	83
貸倒引当金繰入れ	—	6
その他	172	334
営業利益 (△は損失)	885	△925
営業外収益	114	132
営業外費用	123	15
経常利益 (△は損失)	876	△808
特別利益		
金融商品取引責任準備金戻入	185	289
投資有価証券売却益	—	1,606
関係会社株式売却益	60	—
店舗廃止補償金	29	—
貸倒引当金戻入額	7	—
ゴルフ会員権売却益	6	—
固定資産売却益	0	—
特別利益計	289	1,895
特別損失		
投資有価証券売却損	—	181
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	68
有価証券評価減	68	19
組織再編に伴う統合費用等	—	15
固定資産除却損	14	13
部門閉鎖損失	—	13
店舗移転費用	—	5
ゴルフ会員権退会損	8	—
店舗統廃合等損	5	—
特別損失計	95	316
税引前四半期純利益 (△は損失)	1,070	771
法人税、住民税及び事業税	187	16
法人税等調整額	—	53
法人税等合計	187	69
四半期純利益 (△は損失)	883	702